

利尻島において観察されたシベリアムクドリ

大野陽子¹⁾・小杉和樹²⁾

¹⁾ 〒 097-0211 北海道利尻郡利尻富士町鬼脇字鬼脇

²⁾ 〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町

An Observational Record of *Sturnus sturninus* from Rishiri Island

Yoko OHNO¹⁾ and Kazuki KOSUGI²⁾

¹⁾Oniwaki, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0211 Japan

²⁾Fujimi-cho, Kutugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

Abstract. One male of Daurian Starling *Sturnus sturninus* was observed at Oniwaki, southern area of Rishiri Island, on 7 May, 2006 at the first time.

シベリアムクドリ *Sturnus sturninus* (Pallas, 1776) は、『まれな旅鳥』(高野, 1995)として石川県舩倉島, 山形県飛鳥, 八重山諸島から記録があるが(日本鳥類目録編集委員会, 2000), これまで北海道からの記録はなかった(藤巻, 2000)。

筆者の一人である大野は2006年5月7日17時頃, 利尻富士町鬼脇字鬼脇の栗山公園において20cmほどの大きさの見慣れない鳥1羽を発見し, 約5分間の観察と写真撮影を行った(Fig. 1)。観察中, この個体は単独で草地に降り立ち, 草に潜む虫を採餌しているように見えた。しかし, しばらくすると突然北東方向の民家の庭先に移動し, その後すぐに利尻山方面の森に飛び去ってしまったため, 観察の続行は不可能となった。

この約5分間に観察された特徴から大野はシベリアムクドリではないかと判断し, 後日, 筆者の一人である小杉とともに写真の確認を再度行ったところ, 1) 頭頂から後頭にかけて明瞭な黒色の斑があり, 2) 緑色味を帯びた黒色の翼と, 3) 羽先が白い大雨覆・中雨覆を備え, 4) 頭部は暗灰白色でコムクドリ♂に見られる頬の褐色斑が見当たらず, 5) 下腹から下尾筒の淡黄色が目立つ, ことがシベ

リアムクドリの特徴によく合致したため, 本種であることを再確認した。なお, 頭部黒色斑が目立ち, 背と肩羽は褐色味のない黒色で, 翼に緑色味が強い事などから本個体はオスと思われた。

本種は, 前述のこれまでの観察記録から, 春の渡り期には越冬地である東南アジアから日本列島の日本海側の島嶼等を中継しながら北上し, 繁殖地の沿海地方に上陸することも考えられ, 今後も観察者の増加等により本種の飛来記録が利尻島で増加するも



Fig. 1. *Sturnus sturninus* observed on 7, May, 2006.

のと推測される。

参考文献

藤巻裕蔵, 2000. 北海道鳥類目録改訂2版. 帯広畜産大学野生動物管理学研究室. 83 pp.
真木広造・大西敏一, 2000. 日本の野鳥 590. 平

凡社. 655 pp.

日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第6版. 日本鳥学会, 京都. 345 pp.
高野伸二, 1995. フィールドガイド日本の野鳥・増補版. 日本野鳥の会. 343 pp.